

江南市廃棄物減量等推進協議会 令和8年度第2回会議 会議録(概要)

●日時 令和8年8月18日(火) 午後2時00分～午後3時15分

●場所 江南市役所 2階 大会議室(南北)

●出席委員(15名)

会長	森田 英守	副会長	安藤 晴通
委員	高橋 正博	委員	多湖 直希
委員	古田 みちよ	委員	寺澤 直樹
委員	大森 雅広	委員	尾関 幹広
委員	森 ケイ子	委員	澤木 久芳
委員	大脇 秀伸	委員	武馬 章
委員	梅本 孝哉	委員	尾関 奈緒美
委員	黒岩 弘子		

●欠席委員(10名)

委員	高橋 伸	委員	柴田 紀久代
委員	秦 公輝	委員	堀場 知江
委員	村瀬 公康	委員	中西 健仁
委員	古田 一二三	委員	品川 達男
委員	石井 進	委員	宮部 清美

●事務局

環境課課長	中山 英樹
環境課副主幹	長谷川 悟
環境課主任	石塚 建伍
環境課主事	大脇 丈

●会議経過

開 会

●事務局

本日は、「令和8年度第2回江南市廃棄物減量等推進協議会」を開催しましたところ、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様お揃いでございますので、只今から会議を始めさせていただきます。

会に先立ちまして、経済環境部 環境課長 中山よりあいさつを申し上げます。

●中山課長

<あいさつ> ごみ袋の欠品問題の現状

● 委員

近隣の可燃ごみ集積所で、7月になってからも市指定ごみ袋ではなく、透明な袋に入った可燃ごみがあった。可燃ごみ収集車(パッカー車)の放送で周知していただきましたが、日中は仕事などで聞けない人が多かったので、もう少しわかりやすく伝えてほしかった。

● 事務局

今後は、ホームページや安心安全ネット、LINE で情報提供を行うとともに、紙の回覧を配布・掲示して住民の皆さんが分かりやすく確認できるよう努めていきたいと思っています。

● 会長

それでは、議事に入りたいと思います。

議題①「資源ごみ分別品目・処理方法の見直し」について、事務局より説明をお願いします。

事務局説明

ただ今の議題につきまして、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

《質疑》

● 会長

5月の廃棄物減量等推進協議会では、資源プラの指定ごみ袋を導入し、路線回収を実施するとの資料が提示されていきました。本日の資料では、指定ごみ袋の導入や収集方法等につきましては、未定となっております。このように変更になった経緯を教えてください。

● 事務局

前回の会議では、あくまでもその時点で検討案を提示したもので、事務局としては、第1案（資源プラ指定袋を導入する・路線回収を実施する）を前向きに検討しております。万が一、第1案を進められなかった場合を想定して、第2案（資源プラスチック専用の指定ごみ袋を導入し、現在の資源ごみ置き場で週1回収集する。）や第3案（指定ごみ袋は導入せずに、現在の資源ごみ置き場で週1回収集する。）のメリット・デメリットについて、区長をはじめ関係者のご意見を賜り、今後の資源プラ事業の参考にしたいと考えております。

● 委員

資源プラの収集日は可燃ごみの収集日と同じになりますか。

● 事務局

資源プラの収集日は、可燃ごみと別日に設定する方策を検討しております。新ごみ処理施設の供用開始に伴い、全体の収集体制を見直す必要がありますが、曜日設定に加えて、収集業者の許可車両の台数や人員確保といった運搬面の課題も想定されます。まずは、可燃ごみの路線回収が滞りなく行われるように収集業者と調整を進め、資源プラの路線回収開始時期をいつ設定すべきなのか、関係者の意見を踏まえて慎重に判断したいと考えております。

● 委員

ありがとうございます。可燃ごみと資源プラの収集日を同日にすると立ち合いをする方が必要だと思いますので、別日に設置するように進めていただきたいです。

● 委員

第2案や第3案につきましては、賛成できません。第2案は、資源ごみを月2回収集しながら資源プラを週1回、すなわち月6回収集日があることとなります。資源ごみ置き場を道路や私有地などで実施しているところもあるので、立ち合いなしで道路上や私有地に月6回資源ごみが置かれますと様々な問題が出てきます。資源プラは、可燃ごみと比べると重量が軽いので、風でごみが飛散した場合の管理責任はどこにあるのか。設置場所の清掃に要する人員はどのように確保するのか不透明です。今までの協議会では、立ち合い負担の軽減等を理由に第1案を実施するものと思っていましたが、第2案は立ち合いの負担を増大させ、今までの協議内容と矛盾している

ように思います。

● 事務局

第2案については他市（犬山市）での事例を参考に検討しておりますが、管理負担やごみの散乱などの懸念もございます。事務局としても目指すべきところは第1案が適当と考えています。

● 委員

資源プラのごみ袋は可燃ごみ袋と同じものになりますか。

● 事務局

現在、大サイズの可燃ごみ袋は容量35ℓで、1袋20枚入り280円で販売されています。資源プラの収集に対応させるため、強度の高い素材へ変更し、容量を45ℓに拡大する案を検討中です。原材料価格上昇の影響を考慮すれば、価格は280円を超える可能性があります。

● 委員

資源プラ指定袋を45ℓに拡大する案について、当地区では多くの方が中袋で2週間分のごみを出すため、35ℓで十分と考えます。大容量にすると料金も大幅に上がり、負担が増す恐れがあります。以前からお伝えしておりますが、立ち当番の負担軽減の観点からもペットボトルを路線回収へ組み入れをしていただきたいと思います。そうすれば、資源ごみの月2回収集を月1回程度に削減でき、立ち当番の負担軽減がかなり期待できます。

● 委員

一宮市では、小10ℓ・中30ℓ・大45ℓのごみ袋があり、家庭のごみの量に応じて、排出できるようになっていると聞いたことがあります。江南市でも検討をお願いいたします。

一宮市のある地区では、月曜日と木曜日に可燃ごみ、水曜日にプラスチック、金曜日にペットボトルを回収しております。ごみカレンダーを見てみると色分けが明快で、オンラインでも閲覧可能です。現在の「江南市のごみカレンダー」では分別が変わった場合、混乱が起きる可能性が高いため、江南市でも同様に「分かりやすいごみカレンダー」などを作成し、住民へ徹底的に周知していただければと思います。

私は3年前に区長を務め、現在は顧問として区政に関わっています。働く世代の多くが立ち当番の負担軽減を求めており、まずは月1回に頻度を下げ、将来的には制度自体を廃止できるよう検討していただきたいと思います。

● 委員

第1案に賛同いたしますが、第2案・第3案は地区への負担が多すぎます。排出されるプラスチックの量を概ね把握しておりますが、週に1度、資源ごみ置き集積場にごみを置くことは様々な問題から危険です。できれば、路線回収での資源プラを回収していただき、指定ごみ袋は一宮市のように容量別に作成していただければと思います。

● 会長

私は4年前に協議会委員となり、市民からの要望で多数の「立ち当番廃止」要望を確認しました。委員皆さんの意見を踏まえ、第1案が最適と考えますが、現状把握のために多数決を取りたいと思います。

【全会一致で第1案に賛成】

事務局には、協議会の意見を重く受け止めていただき、今後は収集業者と調整を進めていただきたい。また、6月の江南市議会では、多くの議員から資源ごみ立ち当番軽減に向け路線回収導

入や立ち当番削減などの質問があり、関心が高まっていることが見て取れます。先ほど他の委員からの要望等ありましたが、住民への周知方法をどのように考えておりますか。

● 事務局

現在のごみカレンダーでは、裏面にイラストをたくさん掲載しておりますが、新ごみ処理施設の供用開始に伴い、分別方法を変更した冊子を新たに作成し、全世帯へ配布できるように検討しております。住民への理解促進のため、広報紙やデジタル媒体でも同内容を展開できるように予算確保にも引き続き努めてまいります。

● 委員

資源プラの一括回収という考え方は、先ほども議論してきたプラスチック製容器包装類や100%プラスチックを一括で回収するということで、資料にある一括回収に含めてはいけないものは可燃ごみとして捨ててもいいということでしょうか。

● 事務局

資源プラの「一括回収に含めてはいけないもの」としては、汚れが付着しているプラスチック使用製品や繊維や合成ゴム等の複数の素材が使用されているものとなり、ごみの分類は可燃ごみとなります。質問いただきました電化製品は資源ごみとなります。

● 会長

念のため確認ですが、資源プラの「一括回収」と「路線回収」の意味について教えてください。

● 事務局

一括回収とは、プラスチック製容器包装類と100%プラスチック製品で一括回収することを意味しています。路線回収とは、可燃ごみ収集のように、あらかじめ定められた収集ルート（路線）に沿ってごみ収集車が回収することを意味しています。

● 会長

資源プラは路線収集するということですか。

● 事務局

ご認識の通りです。

● 委員

一括回収に含めてよいものの例の中には衣装ケースや人工芝、ビニールシートなど大きいものもありますが、資源プラとして排出してもよろしいでしょうか。

● 事務局

「含めてよいもの」の例でも、優先的に除外すべき品目があります。サイズが50cm以上の衣装ケースは回収できませんが、切断などをしていただき、50cm未満だと排出することができます。浮き輪も同様で、50cm未満に切断すれば排出できます。

● 委員

資源プラの指定ごみ袋の中に混入していた場合はどうすればいいでしょうか。（ごみ袋に入っていたとするとわからないのでは。）

● 事務局

市として排出基準を設ける必要があるのですが、この基準を設けましたが、収集後に基準を超えるものが見つかれば中間処理業者などが除外します。

● 会長

続いて、議題②「剪定枝・草の臨時収集」について、事務局より説明をお願いします。

事務局説明

ただ今の議題につきまして、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

《質疑》

その他、ご意見はございませんか、無いようですので、次にまいります。3. その他について事務局から何かあれば説明をお願いします。

事務局説明

フードドライブ説明

● 委員

資源ごみの持ち去り行為について質問させていただきます。最近、立ち当番が不在の隙を狙い軽トラックが数台来て、電化製品や金属類を持ち去られる事例が増え、特に女性が多い江南団地では対処が困難です。他地区の対策や環境課の具体的な取組を教えてください。

● 委員

高屋区では、立ち当番の方々が資源ごみ置き場を管理していただいておりますが、当番終了後の僅かな時間に電化製品や金属類を持ち去る事例が発生しております。

● 委員

宮後区では、立ち当番やシルバーの方から、ペンチ等の切断工具を持参し、必要なものだけ持ち去る事例があると伺いました。2、3年前に環境事業センターから見守りとして来ていただいた経験があり、今後もお願いしたいです。

● 委員

和田区では、中国籍の方が持ち去り行為をしており、日本語で話しかけても「日本語わからない」と言って急いで立ち去ることがあります。対策できるとしたら、倉庫を設置し、収集した資源を保管・管理できる体制を整えることが大切だと思います。

● 委員

宮田区では、自転車を持ち去りを行う方を見かけます。変に関わりを持つと自宅を特定される恐れがあるため、できるだけ声をかけないようにしております。

● 会長

多くの地区で持ち去りがあることがよくわかりました。事務局として、対策など考えられていますか。

● 事務局

資源ごみの持ち去り行為が頻発しており、重く受け止めております。対策として、年間約45回資源ごみの収集日に巡回を実施し、通報を受けた資源ごみ集積場に関しては、待ち伏せなどの対策を講じておりますが、巧妙な手口で接近を拒むケースが多く、職員も接触が難しい状況です。警察からは、過度に声をかける等は危険な行為にあたるので、できる限り避けるよう指導を受けており、今後も巡回する回数を増やしたりするなど、監視の存在を周知していきます。

● 会長

カラス被害についてですが、花霞町（300 世帯）では、可燃ごみを 8 時半までにお出しいただいても、午後 1 時過ぎに収集されるため、カラス被害や道路の景観悪化のご指摘を区民からいただいております。午前中に収集することやルート変更など検討されているのでしょうか。

● 委員

高屋区では、収集時間が概ね 14 時半ごろで、花霞町と同じように午後の収集となっております。できるだけ午前中に回収していただきたいがいかがでしょうか。

● 会長

午後に収集する割合は、全体のどのくらいでしょうか。

● 事務局

おおむね半分程度は午後に収集となっております。

● 会長

8 時半までにごみ置き場に捨てることは変わらないのでしょうか。

● 事務局

基本的なルールの変更は今のところ考えておりません。市及び収集業者としても、できるだけ効率よく順次回っておりますので。ご了承ください。

● 会長

カラスにかなり荒らされたりするのでなかなか区民の方はご理解いただけないのが現状です。

● 事務局

収集業者の皆様には過積載とならないよう法令遵守を徹底し、収集業務を実施していただいております。令和 10 年 4 月からの可燃ごみの収集コース見直しにおいて、収集時間と収集効率の最適化を進めていきたいと思っております。

これをもちまして、第 2 回江南市廃棄物減量等推進協議会を終了させていただきます。本日は、長時間にわたりご審議を賜り、ありがとうございました。